

平成21年度第1回理事会及び通常総会(29日)

「要旨」

1、理事会・総会

1) 平成21年度第1回理事会が開催され提案議事(案)は議決された。(議案は総会と同じ)

日時 平成21年5月29日(金) 13:30~14:15
場所 マナーハウスエリザベート2F
出席役員(委任含む) 13/14(総数)
修正事項 なし

2) 平成21年度通常総会が開催され提案議案は議決された。

日時 平成21年5月29日(金)
場所 マナーハウスエリザベート3F
総会(議案審議) 14:30~15:15

来賓挨拶:静岡市経済局長・清水商工会議所会報5月号に「しみず新産業開発振興機構の活動特集」が掲載された。この中に、機構の様子、創出研究会や駿河湾プロジェクトの成果の一部が紹介されている。地道な積み重ねで芽が出つつある。この活動を清水経済の機動力にしてほしい。

(1) 議案審議

(出席46社、委任26社/総会員77社)で総会成立 参加者 70人

- 1、平成20年度事業報告
- 2、平成20年度決算報告・同監査報告
- 3、役員改選
- 4、平成21年度事業計画(案)
- 5、平成21年度収支予算(案)

原案通り承認された。

3) 記念講演:「日本経済の現状と展望」 15:30~16:45

講師:三菱UFJリサーチ&コンサルティング執エコノミスト 内田 俊宏 氏

要旨

- ・景気の底打ち時期は、以外に早まる可能性が高い。その後の回復力は、極めて弱いL字回復の可能性。
- ・ここ数年の世界経済の活況は、世界的なマネーバブルに伴う需要増。
- ・世界経済は米国一極主義から国際協調へ 当面は円高定着。夏場に向け一時的に消費上向くも、外需主導の回復シナリオは期待薄。
- ・世界経済の再浮揚は新興国 米国 その他先進国。
- ・世界経済の成長メカニズムが崩壊。・米国の住宅ローン膨張による世界的なマネーバブル。
- ・5%成長の世界経済は急減速、戦後初マイナス成長へ。

- ・40年分の借金が米国の個人消費の重しに。・米国経済の再浮上の大前提は住宅価格の底打ち。
- ・2008年8月(安心実現の緊急総合対策)12兆円、10月(生活対策)27兆円、12月(生活防衛緊急対策)37兆円の大型経済対策も見かけほど期待できなかった。(真水は合計で12兆円)
- ・日本経済は低成長時代へー構造変化が追い打ち~人口減で消費低迷、個人消費に期待できない時代に。
- ・急速に落ち込む雇用情勢 最近の有効求人倍率、愛知0,61、岐阜0,54 三重0,44 静岡0,46 全国0,52.
- ・生産の引き上げには時間。・自動車の生産拠点は分散化。
- ・中長期的な企業経営のキーワード:環境・エネルギー、安心・安全・健康・新しいライフスタイル
価格競争力+製品開発力

4) 新製品発表会 下記試作品の試飲、パンフレット紹介を行った。

- ・アスタキサンチンドリンク、麦茶様エキス、亜臨界水抽出試験機、常温乾燥装置

5) 懇親会 17:10~18:40 (出席60)

3、その他 事務局

- 1) 静岡県産業集積クラスターコンソーシアム事業化推進助成事業に応募申請し、25日にプレゼンテーションが行われた。(6月8日採択された)

テーマ : 単色光による機能性成分増強スプラウトの商品化
 参加企業 : (有)田島農園・(有)管理法人で主事業者(開発実施)
 (株)清水地域経済研究センター(市場調査等)
 静岡県立大学 機能性確認
 協力企業 : (株)ケーイーコーポレーション、(株)ライフビークル
 事業費予算 : 28百万円(内 1/3 は企業負担)
 期間 : 1年間

- 2) 今年度大学研究費調整 事務局
- 3) 企業・大学訪問 事務局

4、二渡コーディネーターコメント

総会も無事終わり新年度に入った。いくつかのテーマについてはいよいよ事業化が期待され、具体的推進の段階に入った。事前に予想されたことではあるが市場関連、特に販売ルート、販売方法についての工夫と努力が大切であり、強力に実行しなければならない。

5、今後の予定

	6月	7月	8月
創出研究会	9日	16日	
			(80回記念・東京アース研究会と合同:東京で)
「産学官交流」講演会	19日(理工科大)	24日(県立大)	
植物工場シンポジウム(静岡フードサイエンスヒルズ主催)		23日(於:清水商工会議所)	
			以上